

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 21 年 4 月 2 日 (2009.4.2)

【公表番号】特表 2008-532071 (P2008-532071A)  
【公表日】平成 20 年 8 月 14 日 (2008.8.14)  
【年通号数】公開・登録公報 2008-032  
【出願番号】特願 2007-556544 (P2007-556544)  
【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 13 日 (2009.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中央オブチカルゾーン、垂直経線、前記中央オブチカルゾーンを包囲する移行ゾーン、前記移行ゾーンから外方に延びるキャリア及び前記キャリア中の複数の厚さゾーンを含むトーリックコンタクトレンズ設計であって、

前記複数の厚さゾーンが少なくとも三つの厚さゾーンを含み、前記三つの厚さゾーンの第二の厚さゾーンが垂直経線をはさんで前記レンズ設計の両側で対称であり、第二の厚さゾーン内の角経線それぞれにおいて比較的一貫した厚さ区分があることを特徴とする設計。

【請求項 2】

前記三つの厚さゾーンの第一及び第三の厚さゾーンが前記レンズ設計の頂部及び底部にある、請求項 1 記載の設計。

【請求項 3】

第一のゾーンと第二のゾーンとの間の境界が垂直経線から少なくとも 15°である、請求項 1 記載の設計。

【請求項 4】

第三のゾーンと第二のゾーンとの間の境界が垂直経線から少なくとも 30°である、請求項 1 記載の設計。

【請求項 5】

第二のゾーンの厚さプロファイルがその上境界からその下境界まで増大する、請求項 1 記載の設計。

【請求項 6】

第二のゾーンの厚さプロファイルの傾きが漸増したのち上境界から下境界まで減少する、請求項 1 記載の設計。

【請求項 7】

比較的一貫した厚さ区分の幅がゾーン幅の少なくとも 30%である、請求項 1 記載の設計。

【請求項 8】

比較的一貫した厚さ区分における厚さ変化が経線での最大厚さの 10%以下である、請求項 1 記載の設計。

**【請求項 9】**

第二のゾーンの上境界から下境界までの厚さプロファイルの範囲が0.065 mm～0.45 mmである、請求項1記載の設計。

**【請求項 10】**

請求項1～9記載のトーリックコンタクトレンズ設計を有するコンタクトレンズ、好ましくはソフトコンタクトレンズ。